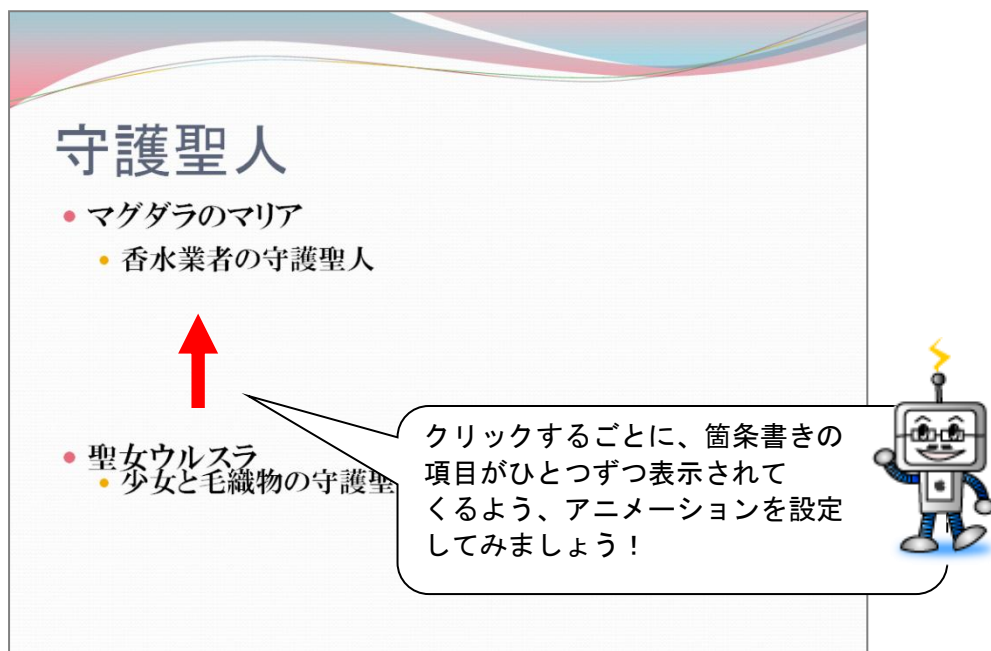


【3】発表に向けて

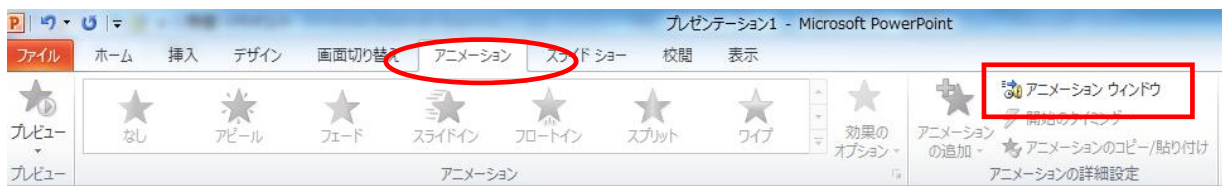
1) アニメーションさせる（画面に動きをつける）には

★ アニメーション効果を設定するには

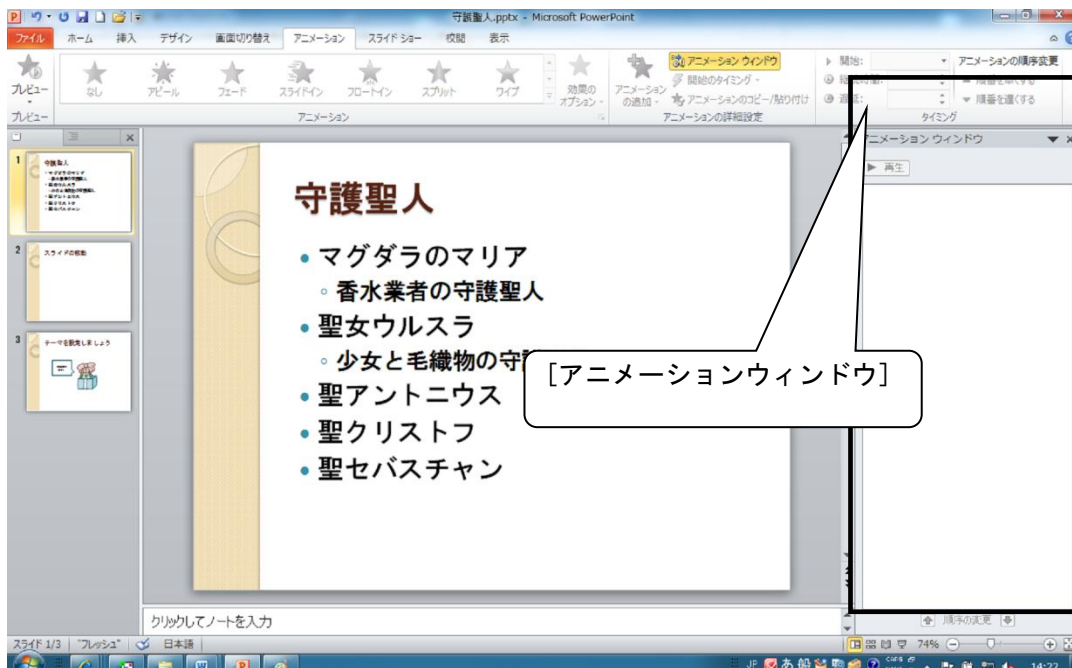
アニメーション効果とはスライドの中の文字や画像などに動きをつける表示方法です。テキストや画像、図形を説明の順序に合わせ、クリックしたタイミングで順番に表示させることができます。



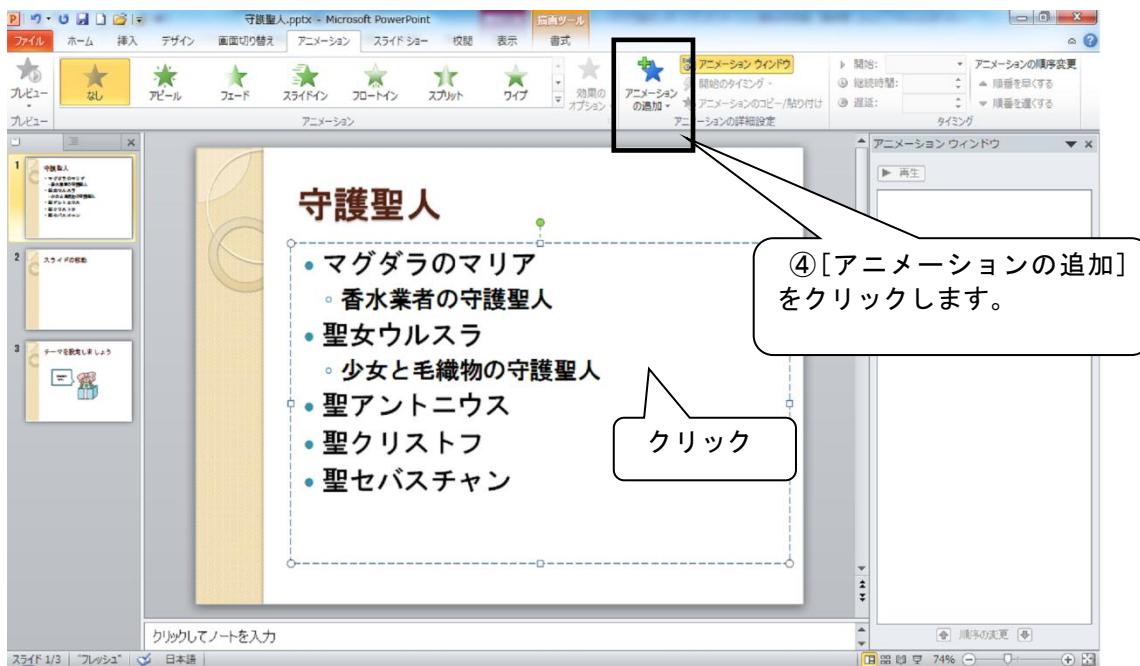
① [アニメーション]タブの[アニメーションウィンドウ]をクリックします。



② [アニメーションウィンドウ]が表示されます。



③ プレースホルダ枠線上でクリックします。



※ アニメーションの設定対象はプレースホルダ内のすべての項目か、箇条書きごとです。
(テキストの一部には設定出来ません)。プレースホルダ内のすべての項目に同じアニメーションを設定するにはプレースホルダ枠線上をクリックし、箇条書きごとに設定するにはその箇条書きを範囲選択します。

⑤ アニメーションの方法を選択します。



開始 → (テキストまたはオブジェクトを) 表示するときのアニメーションを設定します。

強調 → (テキストまたはオブジェクトが) 表示されてからのアニメーションを設定します。

終了 → (テキストまたはオブジェクトを) 非表示にするときのアニメーションを設定します。

アニメーションの軌跡 → (テキストまたはオブジェクトが) スライド上を動く軌跡を指定します。

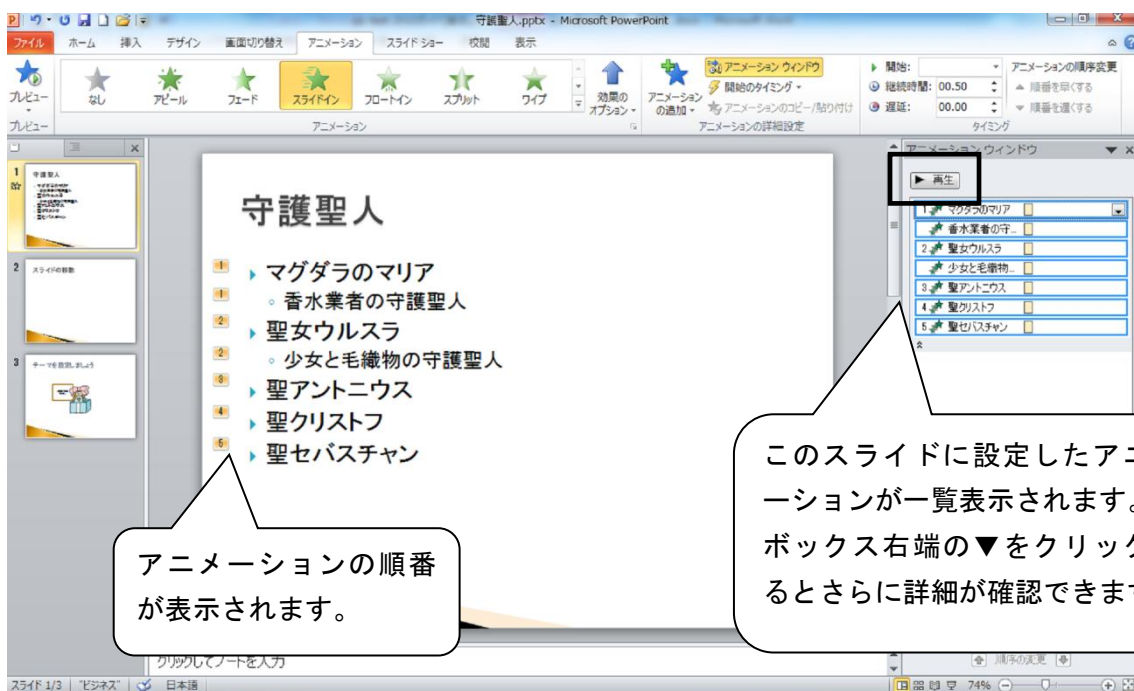
アニメーションの方法および効果はたくさん種類があります。いろいろ試してみてください！

しかし、あまりごちゃごちゃしたアニメーションは見ている人にとってうっとうしいと思われる可能性があります。基本的には控えめな設定で統一して、もっとも強調したい箇所だけ他と違う演出をする方がいいでしょう。

⑥ 効果を選択します。

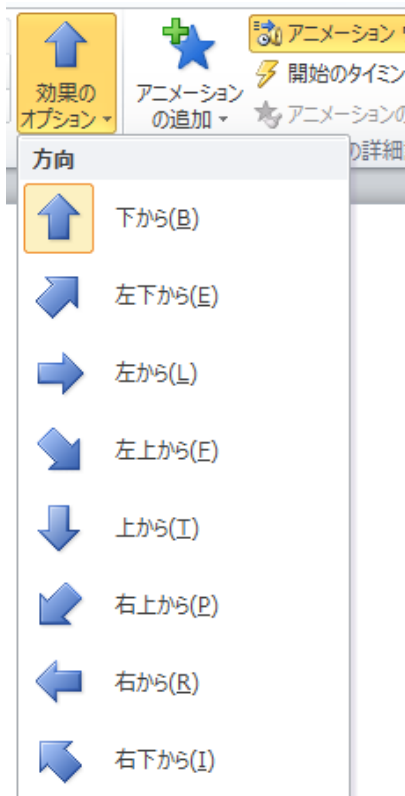


⑦ アニメーションが設定されます。



※設定したアニメーションを確認するには、**再生** をクリックします。

⑧ アニメーションの編集を行うこともできます。

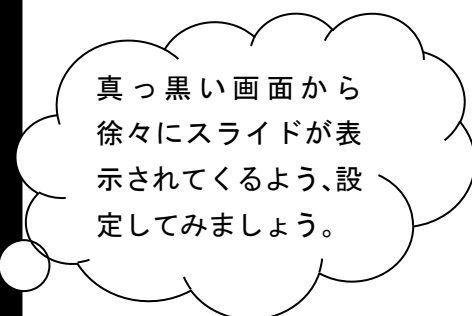
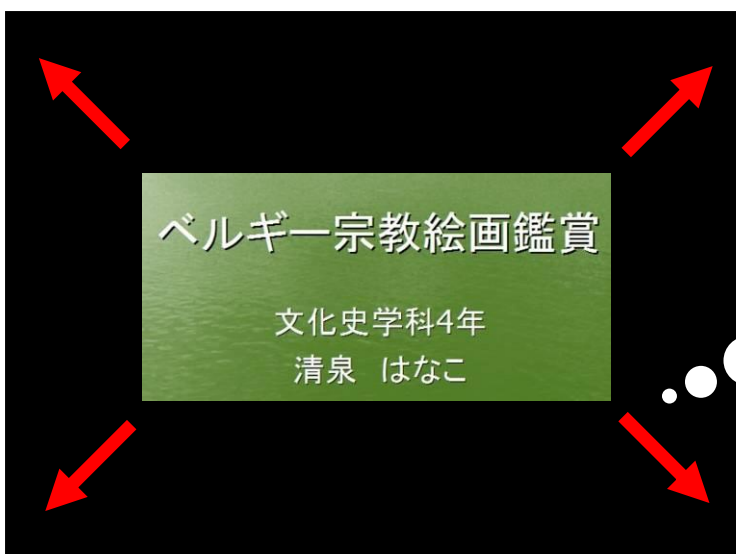


※ 画像や図形にも同様にアニメーションを設定できます。



★ 画面の切り替え効果を設定するには

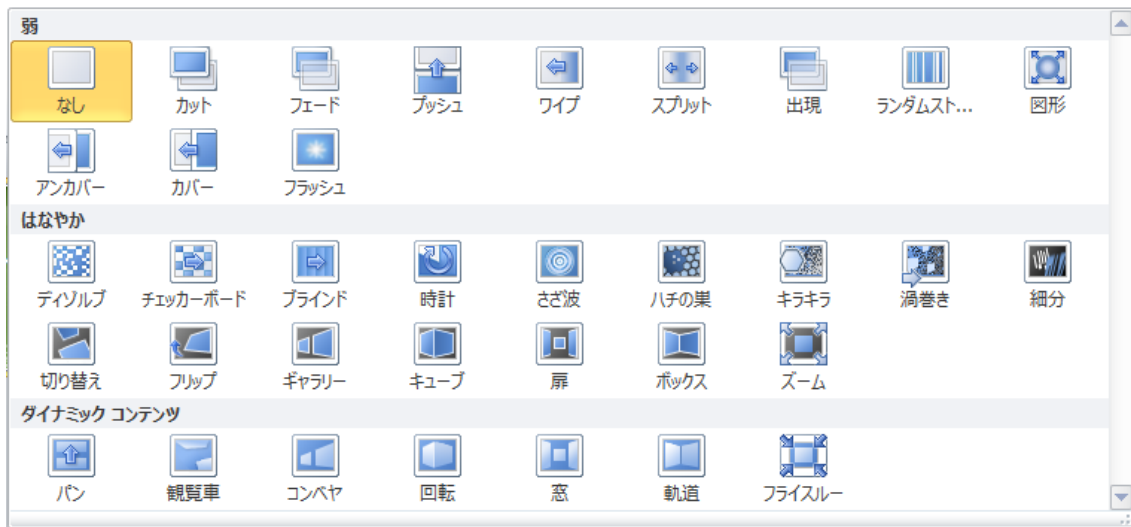
画面の切り替え効果とは：スライドが切り替わる時の表示方法です。



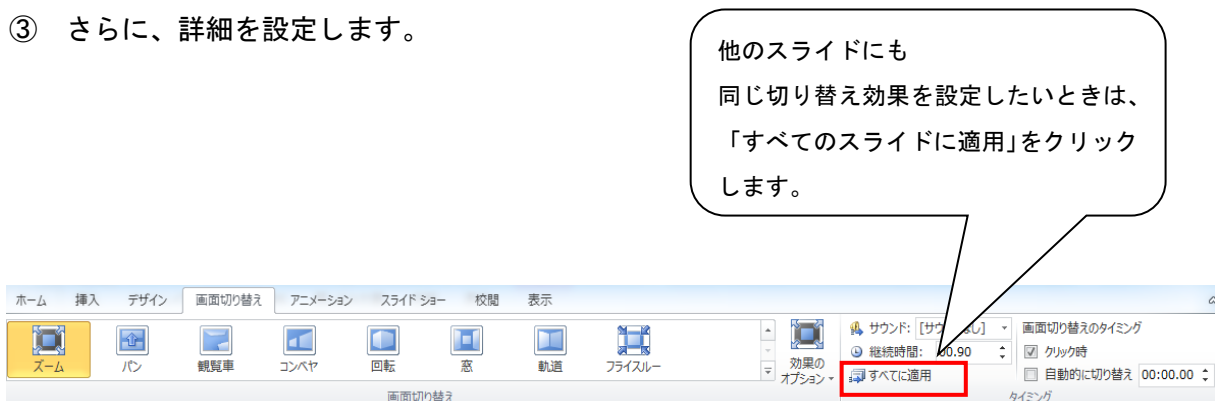
① [画面切り替え]タブ、[画面切り替え]グループの[その他]ボタンをクリックします。



② 一覧の中から、どのアニメーションにするかを決定します。



③ さらに、詳細を設定します。



速さの調整ができます。

画面切り替えのタイミングを
☆ クリック時にするか
☆ 自動設定にするか
自動設定の場合は、画面を切り替えるまでの時間設定を行います。

2) スライドショーを実行するには

「スライドショー」(＝スライドを一枚ずつ表示していきます)を実行して、作成したプレゼンテーション資料を確認しましょう。

「スライドショー」の実行は、どのスライドから開始するかによってクリックするボタンが異なります。



スライドショーが実行されます。

※ スライドショー実行中は、[→]キーまたは「N」¹を押すかマウスを左クリックして次のスライドに移動、アニメーション再生中であればその続きを表示します。[Esc]キーを押すとスライドショーを中止します。前のスライドに戻るには「←」か「P」²を押します。



次のスライドを表示するには、[→]キーを押すかマウスを左クリックします。

前のスライドに戻るには、[←]か[P]キーを押します。

¹ 「N」は「Next」を意味しています。

² 「P」は「Previous」を意味しています。

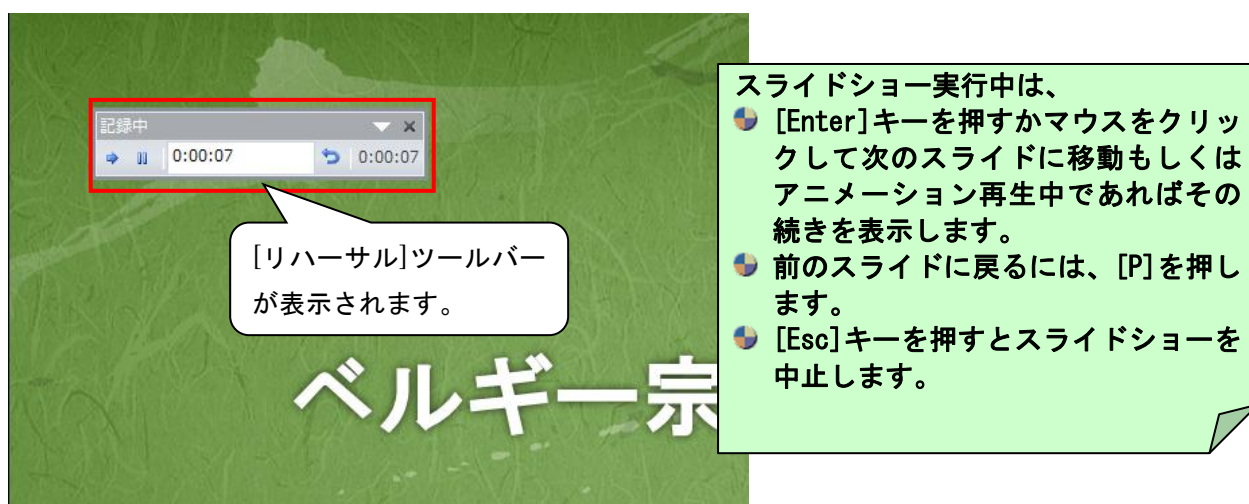
3) 発表時間を計るには (リハーサル)

決められた時間内に上手く収めるには、リハーサル機能を使って発表時間を計りましょう。

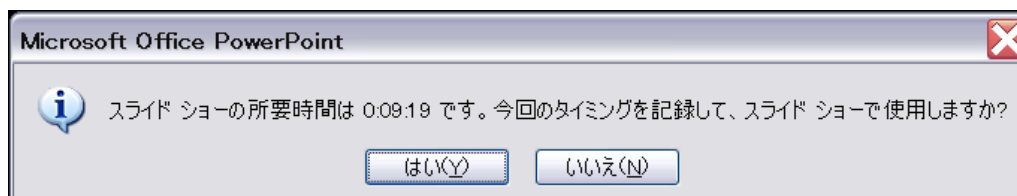
- ① [スライドショー]タブの[リハーサル]をクリックします。



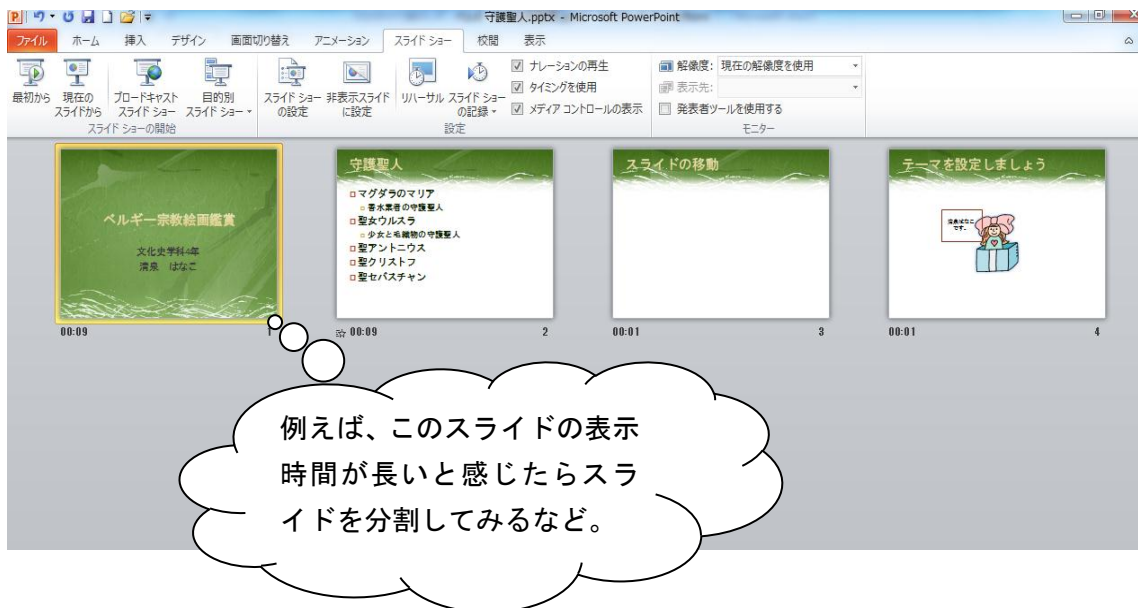
- ② スライドショーが実行されます。本番のつもりで、実際に喋りながら進めましょう。



- ③ スライドショーが終了すると、以下のメッセージが表示されます。[はい]をクリックします。



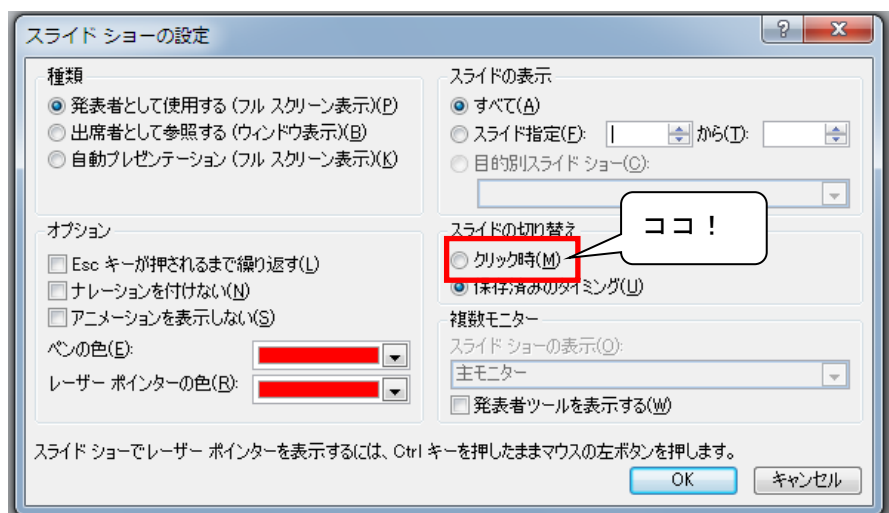
- ④ スライドが一覧表示され、各スライドの表示時間を確認することができます。時間配分など、発表の目安になるので参考にしてください。



※ [スライドショー]⇒[リハーサル]はその度にスライドショーを実行し、タイミングを保存します。保存されたタイミングは[スライドショー]⇒[実行]で実行されます。



口頭発表の練習が終わったら、必ず[スライドショー]⇒[スライドショーの設定]より、スライドの切り替えを[クリック時]にしておくのを忘れないでください。



これを忘れると、本番発表中、リハーサル時に保存したタイミングでスライドが進んでしまいます。

4) 他のパソコンでもプレゼンテーションができるように設定する

他のパソコンでスライドショーを実行したい場合は、「プレゼンテーションパック」を作成します。

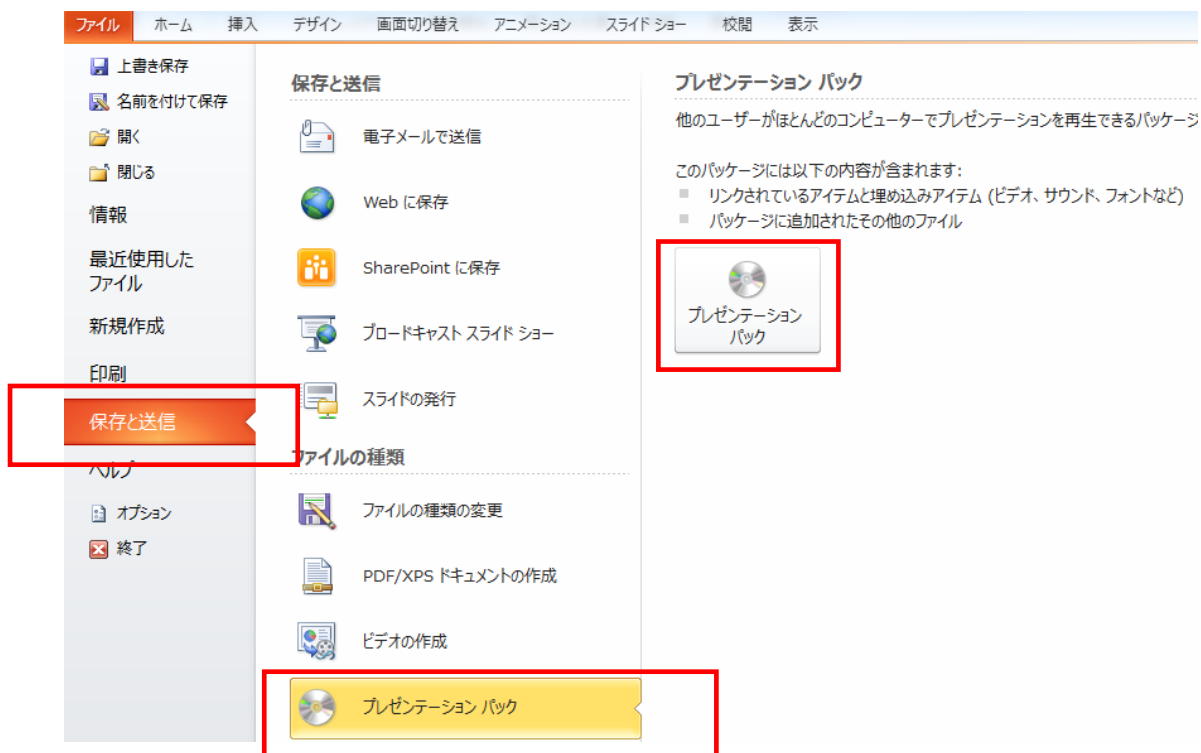
「プレゼンテーションパック」には、必要なファイルがすべて含まれているので、PowerPoint2010がインストールされていないパソコンでも実行できます。

※ 音声や動画などを挿入している場合、PowerPoint ファイルだけをコピーしても、他のパソコンではうまく再生できない場合があります。また、音声ファイルや動画ファイルを一緒にコピーしたつもりでも再生するためのツールが必要な場合もありますので、必ずこの保存方法で保存してください。

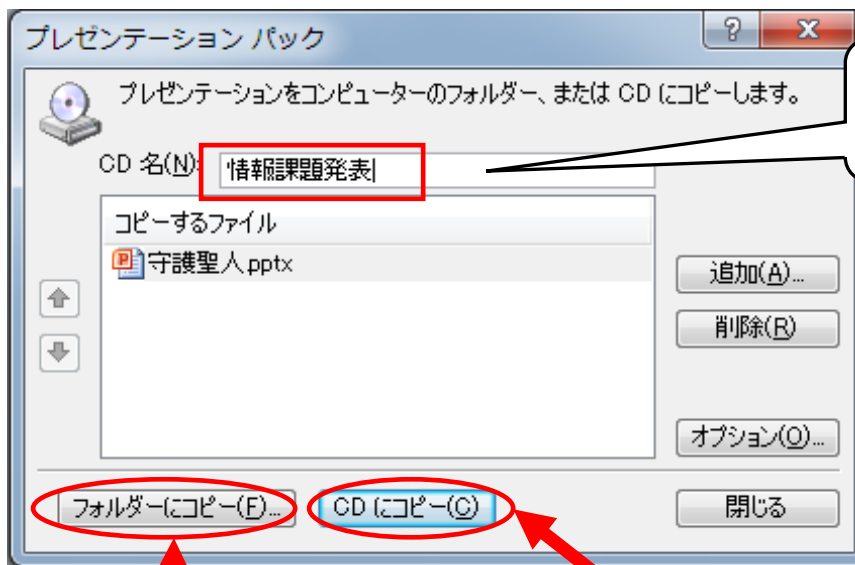
プレゼンテーションパックを CD に保存するには、あらかじめ空の CD をパソコンにセットしておきます。

① 保存する PowerPoint ファイルを開きます。

「ファイル」タブをクリック → 「保存と送信」をクリックし、「プレゼンテーションパック」をクリック後、右の「プレゼンテーションパック」を選択。



②

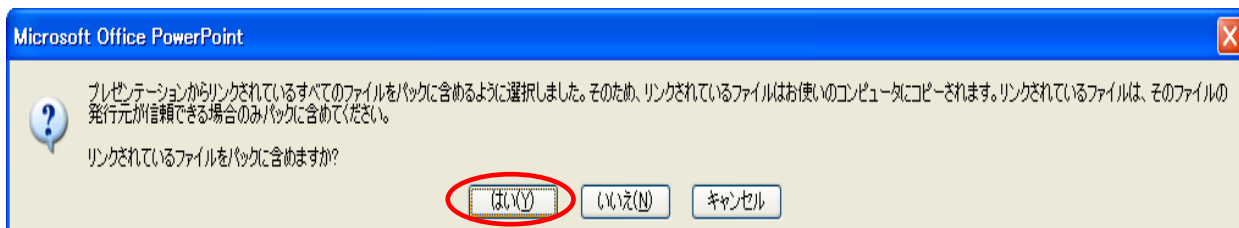


CD-Rに名前をつけます。
USBに入れたいときも同じ
です。

パソコン内のマイドキュメント
にコピーするときはこちらをク
リック。
※ USBメモリに保存した
いときは、マイドキュメントからコ
ピーしてください。

CD-Rにコピーするときはこ
ちらをクリック。

③ 「はい」をクリック。




「プレゼンテーションパック」が作成され、作成が完了すると CD-R が排出されます。

**発表の直前や、いざ発表の時になって再生
できないことがわかり、あわてて相談にこ
られることが少なくありません。
簡単ですから ぜひ操作方法をマスターし
ましょう!**



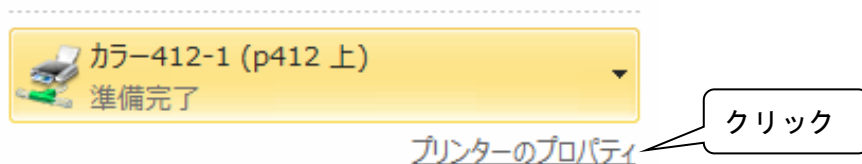
5) プレゼンテーション資料の印刷方法

[印刷]ボタンをクリックすると「1スライド=1ページ」が白黒で出力されますが、出席者に資料を配布するときは複数のスライドをまとめて印刷したものを渡します(=配布資料といいます。1ページに、複数のスライドを並べて印刷することができます)。配布資料をカラーで出力するには以下の手順で印刷します。白黒でかまわなければカラーを指定する必要はありません。

- ① [ファイル]タブ  をクリックして、メニューの [印刷] をクリックします。
- ② プリンタ名の▼をクリックし、カラープリンタ(” ¥¥p×××¥カラー_××× ”。×××は教室番号です)を選択します。



- ③ [プリンターのプロパティ]をクリックします。



- ④ [カラー／白黒]の▼をクリックし、「カラー」を選択します。

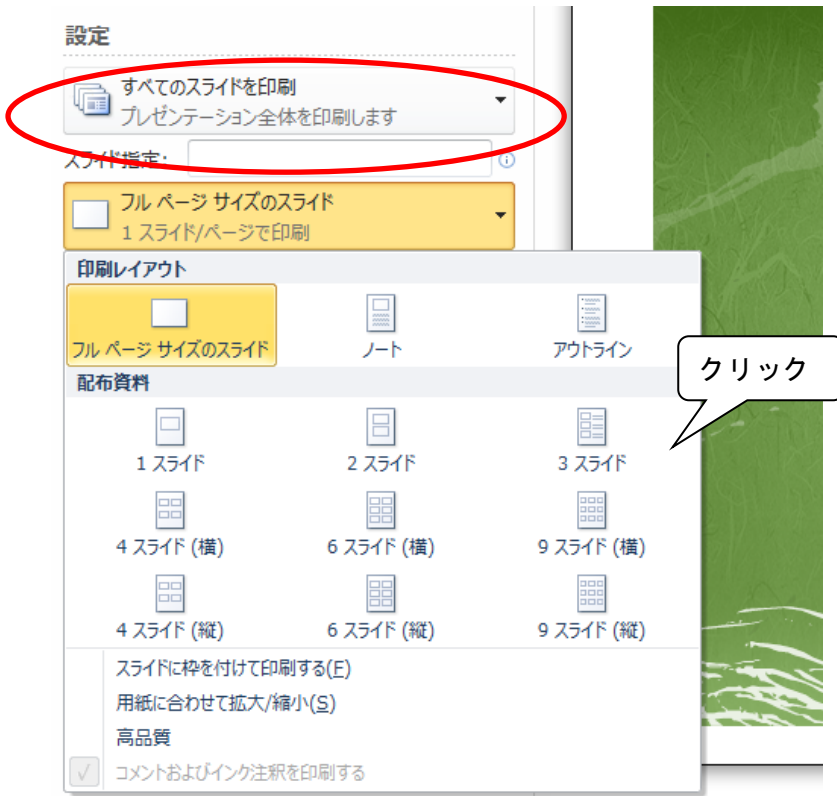


- ⑥ [カラー] の▼をクリックし、「カラー」を選択します。

「グレースケール」って？
「白黒」（ここでは「単純白黒」と表示されています）は白か黒かの2色のことですが、「グレースケール」は白から黒までの明暗を薄いグレー～濃いグレーで表現します（いわゆる「モノクロ」のことです）。カラーで出力する必要がなければ、ここは「グレースケール」で印刷しましょう。

(※ここまでがカラー出力の設定です。1 スライド=1 ページでカラー出力したいときは、[OK]ボタンをクリックしましょう。)

- ⑦ 今回は配布資料を印刷したいので、[フルページサイズのスライド]の▼をクリックし、「配布資料」の中から、1 ページに印刷するスライドの枚数を選択します。



3 スライド だとこんな感じです↓



6 スライド(横)だとこんな感じです↓



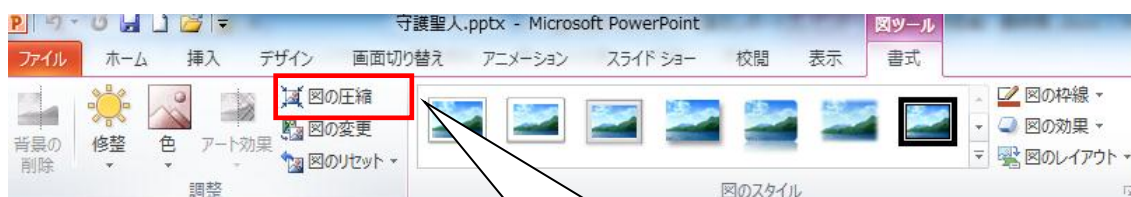
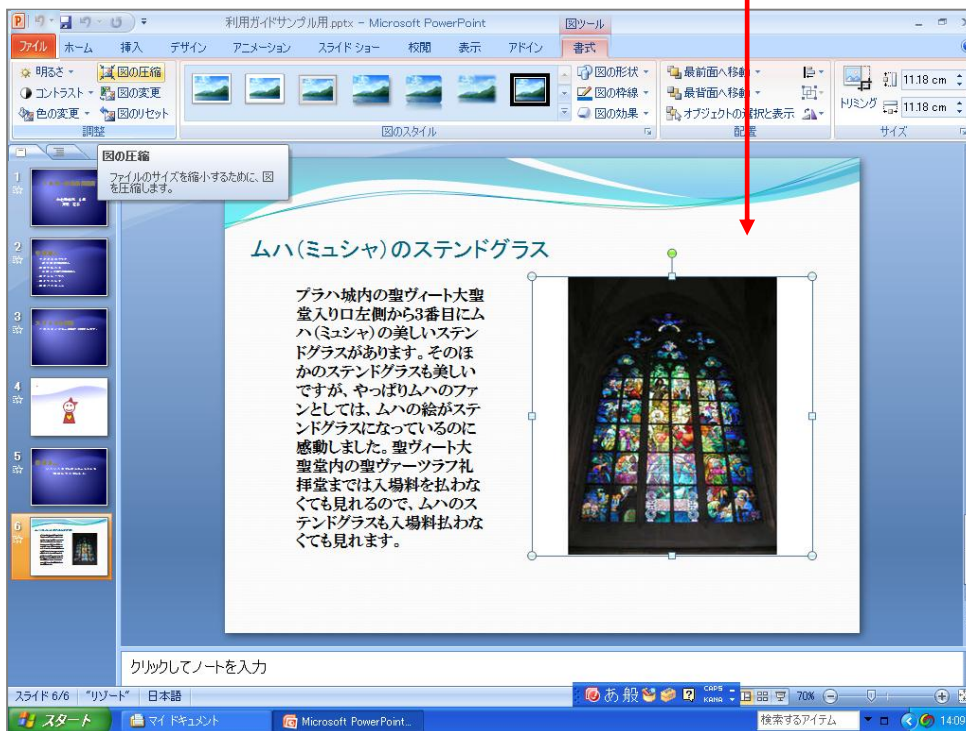
- ⑧ [OK]ボタンをクリックします。

6) 挿入した図のファイルサイズを小さくするには

画像を多く用いたプレゼンテーションは、ファイルサイズが大きいため、Web 上の公開や電子メールでのやりとりの際に、そのままでは扱いきれない場合があります。

画像のトリミング部分を削除したり、画質を落としたりすることで、ファイルサイズを小さくすることができます。

- ① ファイルサイズを小さくしたい画像をクリックして選択します。



- ② [図ツール]の[書式]タブにある[調整]グループの[図の圧縮]をクリック。

③ [画像の圧縮]ダイアログボックスが表示されますので

[圧縮オプション]では、[この画像だけに適用する]にチェックをつけ、

※チェックをはずすと、プレゼンテーションファイル内のすべての画像が圧縮されます

[図のトリミング部分を削除する (D)]にチェックを付けます。

[解像度の選択]では、画像の解像度の設定を行います。ここでは Web 上の公開を行うという設定で、[画面用]をクリックして[OK]ボタンをクリックします。

